SECOND ANNOUNCEMENT | 第2次案内

学習指導要領の届け方を探る

教師が「学びの地図」を編む力を引き出すための、
指導主事の役割とは



ふりかえる。
みつける。
届け方をつくる。

聞いて帰る研修ではありません。

参加者と登壇者で、「教師に届く形」をつくります。

SUN / NOVEMBER 22 / 2026

2026.11.22（日） 10:00 - 16:30

岡山大学 KIBINOVE 5階

定員40名｜研修に携わる指導主事等

対話が動く、4つの瞬間。

REFLECT / INPUT / DIALOGUE / CO-DESIGN



ふりかえる

10:00 - 12:00

町支 帝京大学 准教授と
自分が実施した研修について内省



考える

13:00 -

武藤 文部科学省教育課程課 課長
岡崎 岡山大学 准教授
江尻 岡山大学 准教授による情報提供



みつける

CROSS TALK

島谷 NITS審議役と課題発見

つくる

MAIN WORK

登壇者と**参加者**の協働で
届け方の探索

持ち帰るのは、誰かの正解ではなく、自分たちで編んだ「届け方」。

事前課題｜本年度、自分が実施した研修についてのリフレクション

この対話に、あなたも。

会場｜岡山大学 KIBINOVE 5階
主催｜NITS岡山大学センター

QRコード等から参加登録をお願いします。
https://forms.gle/NtL1MAYUSyk9H8DH9

令和 8 年度 NITS 岡山大学センター研修講座

「学習指導要領の届け方を探る」実施要項

― 教師が「学びの地図」を編む力を引き出すための、指導主事の役割とは ―

1．趣旨

学習指導要領の趣旨を学校現場の教育実践へ結び付けるためには、内容を正確に周知することに加え、教師が自らの経験や児童生徒の実態、学校の教育課程と結び付けて意味を捉え直し、実践へ移すプロセスまでを描くことが重要です。とりわけ、研修の企画・運営を担う指導主事等には、教師の既有の授業観・教師観を踏まえ、対話を通して理解の再構成を促し、学校組織における実践につなげる研修を設計する役割が求められます。

本研修では、参加者自身が実施した研修を内省し、学習指導要領の周知について、学習指導要領、認知科学、指導主事経験及び教師教育の三つの視点から考えます。その上で、登壇者と参加者が対話しながら課題を見つけ、教師が学習指導要領を授業づくりの「地図」として活用できるようにするための研修プランを協働で構想します。

2．目的

・自身が実施した研修を受講者の反応や自らの判断から振り返り、研修企画・運営上の課題を具体化する。
・教師の理解や行動が変容する過程を複数の専門的視点から捉え、学習指導要領の趣旨を実践へ結び付けるための視点を得る。
・所属や地域での研修実施に向けた仮のプランを構想し、今後の教職員研修の改善につなげる。

3．主催

独立行政法人教職員支援機構 岡山大学センター（NITS 岡山大学センター）

4．開催概要

日　時	令和 8 年（2026 年）11 月 22 日（日） 10:00～16:30
会　場	岡山大学 共創イノベーションラボ（KIBINOVE）5 階 コネクトスタジオ 〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目 1 番 1 号（津島キャンパス）
対　象	教育委員会・教育事務所・教育センター等において、研修の企画・運営に携わる指導主事等
定　員	40 名　※定員になりましたら締め切らせていただきます。
実施方法	対面による講話、グループ対話、クロストーク及び研修設計ワーク
参加費	無料　※会場までの旅費等は、各所属の規程に基づき取り扱ってください。

5．本研修の特徴（対面参加の意義）

本研修は、講話の聴講のみを目的とするものではありません。参加者が自らの研修実践を持ち寄り、その場で他者の経験や専門的知見と照合しながら考えを再構成し、研修プランとして具体化する探究型の対面研修です。所属や立場を越えた相互作用を研修成果の中核に位置付けるため、全日程を会場で実施します。

6．日程及び内容

時間	内容		
10:00 ～ 12:00	**午前の部｜ふりかえる**	自身が本年度実施した研修を題材に、参加者の反応や自らの判断を振り返り、4 人程度のグループで語り合う。よりよい教師の学びを支えるために、指導主事が何を見るか、どのように捉えるかを検討する。	町支 大祐（帝京大学） 江尻 寛正（岡山大学）
12:00 ～ 13:00	休憩	昼食・休憩	
13:00 ～ 16:30	**午後の部｜考える・みつける・つくる**	①三つの視点からの話題提供（学習指導要領／認知科学／指導主事経験・教師教育） ②クロストーク「学習指導要領の届け方の課題は？」 ③メインワーク「私たちの届け方」―教師が学習指導要領を授業の『地図』として活用できる研修プランの構想・共有	武藤 久慶（文部科学省） 岡崎 善弘（岡山大学） 江尻 寛正（岡山大学） 島谷 千春（NITS）

※進行上、各内容の時間配分を調整する場合があります。

7．事前課題

本年度、自身が企画又は実施した研修について、参加者の様子・反応、ねらいに対する成果と課題、その際に自分が考えたことを振り返って A4 用紙２枚にまとめてください。当日の午前の部で共有します。詳細は、決定通知の中で連絡します。

8．参加申込

参加を希望する方は、令和８年 10 月 16 日（金）までに、次のフォームから必要事項を登録してください。決定通知は、10 月 23 日（金）までに、登録された電子メールアドレス宛てに行います。

参加申込フォーム：https://forms.gle/NtL1MAYUSyk9H8DH9

9．参加に当たって

・本研修の趣旨を踏まえ、午前・午後を通した参加を原則とします。
・休日開催のため、出張の取扱い、服務及び旅費等については、あらかじめ所属長の承認を得るなど、各所属の規程に基づいて手続を行ってください。
・昼食は各自で準備してください。会場内での飲食等に関する詳細は、別途連絡します。
・取材等で撮影が行われる場合があります。不都合がある方は、当日、申し出てください。

10．会場案内・問合せ

会場案内：岡山大学 共創イノベーションラボ（KIBINOVE）5 階
問合せ先：独立行政法人教職員支援機構 岡山大学センター（担当：江尻 寛正）
岡山大学江尻研究室　TEL 086-251-7729
Mail：ejirihiromasa@okayama-u.ac.jp